

飯田 海山(いいた かいざん)

資 料

短冊『うぐひすや 親子ならむで 老を啼 海山人』

\*親子短尺塚(横浜市港北区 本法寺)に刻まれている句

作 者

1852(嘉永5). 8. 18-1925(大正14). 10. 20

神奈川県高座郡深見村(大和市)生まれ。

橘樹郡大綱村の飯田助大夫(10代)の娘・カンと結婚し、  
明治11年、飯田助大夫(11代)を襲名する。大綱村長や  
神奈川県議会議員を務める。

飯田九一の父。

参考文献

『飯田家三代の倂』(品川貞一/編著・刊 1941

[地域 K28. 18/3(50492123)])

『神奈川県史(別編 1) 人物』(神奈川県民部県史編  
集室/編 神奈川県 1983. 3

[県立 213. 7/10-4/1(10427078)])

